

**千葉大学医学部附属病院で
下肢末梢動脈疾患（閉塞性動脈硬化症）に対して
血管内（カテーテル）治療を受けた患者の皆様、ご家族の皆様へ**

2026年1月5日

循環器内科

循環器内科では、血管内治療（カテーテル治療）を受けられた下肢末梢動脈疾患（閉塞性動脈硬化症）の患者さんについての研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方や、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2019年1月1日から2022年12月31日の間に、下肢末梢動脈疾患に対して血管内治療が行われた方

1. 研究課題名

「下肢末梢動脈疾患に対する血管内治療後の抗血栓療法に関する多施設登録研究」

2. 研究期間

2024年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院の倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

下肢末梢動脈疾患（閉塞性動脈硬化症）をもつ患者さんでは、心筋梗塞や脳梗塞といった動脈硬化による病気が起こる可能性が高いため、一般にこれを予防するために抗血栓薬（血をサラサラにする薬）が使用されます。ただし下肢末梢動脈疾患をもつ患者さんにおける抗血栓療法についてのデータは十分でないため、特に血管内（カテーテル）治療を受けた方の情報を収集してこれを検証します。本研究により下肢末梢動脈疾患有する患者さんにおける適切な抗血栓療法が示唆された場合、その結果を今後のさらなる研究につなげる予定です。本研究においては、下記（5. 研究組織）に挙げる施設においてデータが収集され、氏名等の個人を識別できる情報を削除したうえで千葉大学医

学部附属病院へ情報が集約され、解析がおこなわれます。

4. 研究に用いる情報の種類

本研究では、過去の通常の診療において記録された、診療録に記載されている情報を収集します。これには、年齢、性別、喫煙習慣、病歴、使用していた薬剤、血液検査、画像検査、カテーテル治療後の経過などのデータが含まれます。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

研究代表機関名	研究代表者
千葉大学医学部附属病院	斎藤 佑一
共同研究機関名	研究責任者
君津中央病院	高原 正幸
J C H O 千葉病院	河野 行儀
済生会習志野病院	松本 忠浩
成田赤十字病院	大野 祐司
船橋市立医療センター	岩田 曜

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院 循環器内科および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも、不利益が生じる事はありません。その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

循環器内科（助教）斎藤 佑一

043(222)7171 内線 6390